

2023年 あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお祈いします。

去年は、2月24日にロシアがウクライナに侵攻し、一年の漢字が「戦」となりました。改めて、憲法9条を守り、外交努力で日本の平和を守っていくことが必要です。

岸田政権は、軍事費に5年間で43兆円使うこと、敵基地攻撃能力の保持などを盛り込んだ安保3文書の閣議決定を行いました。国会での審議もなく、暮らしを破壊し、日本に戦禍を招きかねないものであり、撤回を求めています。

一宮市においては、1月15日に一宮市長選挙、2月5日には愛知県知事選挙、4月には県議会議員選挙、市議会議員選挙が行われます。選挙に行き、身近な政治から変えましょう。

日本共産党は、市民のみなさんと力を合わせ、よりよい市政・県政の実現に力を尽くします。



日本共産党市議会議員
 ひこさか和子



日本共産党市民運動部長
 わたなべ さとし

2023年 あけましておめでとうございます。

去年は、岸田内閣が「新資本主義だとか所得倍増だ」と言っていたが、閣議決定した「安保3文書」で、敵基地攻撃能力の保有とそのため43兆円の大軍拡・増税です。倍になったのは所得でなく軍事費です。

戦後の日本は世界に誇る平和憲法9条を持ちました。以後戦争をしていません。父は予科練に行き、「優秀な人から戦争に行った。戦争は絶対だめだ」とよくいっていました。いま、日本国は戦争に進むか、平和日本を守るかの岐路にあります。自公に維新、国民民主が接近し、「翼賛化」が起きています。国会の議席は圧倒的に「戦争にすすむ」状況です。

ウクライナの事態は武力でなく、「平和的解決」の道しかないと思われま。す。「軍事対軍事」は人が死に、がれきの山です。

東南アジア諸国連合(=ASEAN)はいかなる紛争も話し合いで解決していくことにしています。この範囲に、中国・北朝鮮・日本・米国をも含むところまで広げていく、憲法9条を持つ日本が外交努力をすることです。

統一地方選挙は全国的で行われます。愛知県政は統一協会問題の追及がされない、大村知事提案の全議案に賛成、県民の請願件数(共産党議員いたとき92件)が11件に激減、保育・学童充実の27万署名の紹介議員ゼロ人、共産党県議がない実態です。平和憲法を守る・消費税5%に引き下げる・県民のみなさんの声を議会に届ける日本共産党を一宮・県議会で増やし、岸田政権に痛打を、平和のための世論となるように、日本共産党の応援を今年もよろしくお祈いします。



日本共産党一宮尾北地区委員長

板倉 正文

一宮市政を振り返る 2022年

来年一宮市では、一宮市長選挙、県知事選挙、県議会議員選挙、市議会議員選挙などが行われます。市政を見直すチャンスとなる来年に向け、シリーズで一宮市政を振り返りたいと思います。今回は直近の2022年を振り返ります。(9月議会まで)

中核市で権限拡大し、今につながる変更がされた3月議会

2月24日から始まったロシアのウクライナ侵攻に対し、3月8日に「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を非難する決議」が全会一致で採択されました。

自転車ヘルメット購入補助事業を全年齢対象に拡充、高齢者福祉タクシー料金給付事業の85歳までの拡充、児童館整備事業などの前進した内容もありますが、公衆浴場入浴助成券の廃止、生涯学習バス11月での廃止、これまでの浸水想定区域の除外、第1共同調理場整備のPFI契約の締結などが決められています。

日本共産党は、①障害者施策を後退させないように②子どもたちが健やかに育つ保育環境を③企業誘致と安心安全な住民の生活環境関係者の質問で、障がい者が必要なサービスが受けられるように、そして施設への補助金拡充、安心安全な保育環境の確保、物流倉庫建設で地域の災害増加を招かないことなどを求めました。

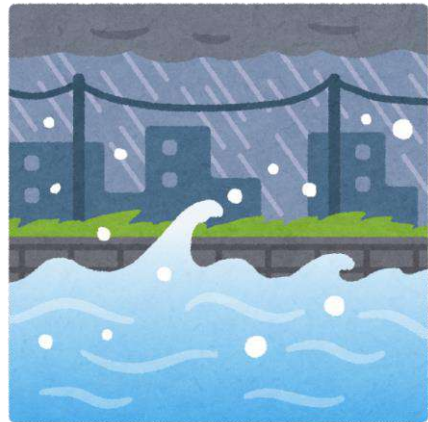
「一宮市働く婦人の家」の利用の継続を求める、放課後児童クラブ利用手数料の引き下げと8月の加算料取り止めを求めるがみなし不採択となりました。

2022年4月～市の組織改変、市職員の期末手当引き下げ

4月から副市長が2名となり、各部署の名称変更・組織改変などがありました。また、コロナ禍の中頑張っている市職員の期末手当を不利益不遡及に反し、過去にさかのぼって引き下げるという内容に日本共産党だけが反対しましたが、引き下げられました。

2022年6月議会

子育て支援の施策(特別給付金、食材の高騰による食材購入費補助)や、医療機関への支援、保育士などの処遇改善事業などが行われました。しかし、マイナンバー制度の推進や、感染調査などの業務の委託なども行われています。そして、財源は国や県から出されている臨時交付金だよりとなっており、市独自での支援はあまりありません。



日本共産党は、「①学校給食費の無償化・一部補助について②テナント型保育所の3階から1階までの乳児の緊急避難と認可について③千秋の物流倉庫建設と許可について④国民健康保険税の滞納と資格証明書の発行について」を取り上げ、学校給食費の無償化、認可保育園での安全確保、物流倉庫建設許可の撤回、資格証明書の発行中止を求めました。

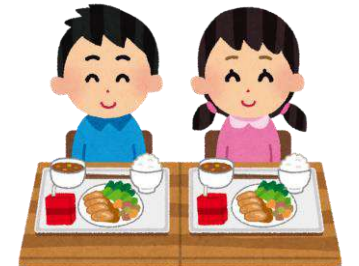
新型コロナウイルス感染症自宅療養者への保健所対応が原則無しに

8月から、新型コロナウイルス感染症自宅療養者の対応が変わり、保健所から電話対応する対象者を①65歳以上②重症化リスクがあると確認された方(悪性腫瘍・慢性腎臓病等)③妊娠者のみとし、原則電話連絡しないことになってしまいました。

市民の要求が実現した9月議会

補正予算が生まれ、市民が求めてきた給食費の無償化(保育園・小中学校など)、水道基本料金の減免、燃油高等などに対応した支援などが行われました。学校などでのコロナ対応の事業、教員の多忙化解消の事業なども計上されています。市の独自予算は少なく、多くは国などの交付金が原資です。

日本共産党は、「①インボイス制度導入とシルバー人材センター②第3次一宮市公共交通計画策定について③令和4年度第1回一宮市学校給食審議会を傍聴して④子ども医療費18歳年度末まで無料に」の質問で、インボイス制度の延期・中止、福祉の立場での公共交通の充実、給食費増額分を市が負担、18歳までの医療費窓口負担の無料化を求めました。



日本共産党一宮市委員会は、さまざまな申し入れを実施



日本共産党は、2022年も様々な申し入れを行いました。1/24 新型コロナ感染急拡大への対応に関する緊急要望、5/18 新型コロナ感染症に関する緊急申し入れ、5/24 学校給食費の負担軽減、無償化を求める要望書、8/23 統一協会に関する要望書と新型コロナ感染症に関する緊急申し入れなど多数の申し入れ・要望など行うとともに、市民から寄せられる要望書の紹介議員となり、市民の声を議会に届けました。

また、国や地方自治体で統一協会との関係を正す動きの中、議長に10/27「議会と統一協会の関係を正すことを求める申し入れ」を行い、議会と統一協会の関係を正す動きを作り出しました。



(わたなべさとし)